

編集・発行：五島壮一郎事務所  
電話：079-239-5841  
FAX：079-236-2282  
mail：info@s-goto.com  
HP：http://www.s-goto.com  
http://www.facebook.com/goto.soichiro.510

### 兵庫県議会議員

#### 緊急補正でクラスター化封じ

桜花爛漫に沸き立つ季節ですが、これをかき消すように、わが国は新型コロナウイルス感染症によって国患の春を迎えています。力を合わせ心ひとつに、未曾有の災厄に立ち向かうことをまずお誓いします。

兵庫県では多くの感染者が確認され、これ以上のクラスター化を防ぎ、第2次感染を封じ込めるために27億円超の緊急対策補正予算を編成しました。

感染拡大の防止に努めるとともに、一方で中小企業の事業活動への支援にあらゆる政策を総動員することが急務となっています。さらに、確かな情報発信に基づいて「不安」を払拭させ、住民に「安全安心」を担保することが政治・行政に課せられている責務であると確信しています。

#### 予期せぬ事態に即応する体制を

今年には阪神・淡路大震災から25年、戦後75年の節目でもあります。戦争体験や震災記憶の風化が懸念される今だからこそ、過去から学び未来につなぐことが重要なのです。

平和と命の尊さを改めて心に刻み付け、大災害に備えて災害文化を定着させるとともに、予期せぬ緊急事態に即応できる体制づく



第347回定例県議会の一般質問に登壇、福祉や防災など7項目を県当局に質しました

## 未来に夢の持てる政策を展開

りに万全を期したいものです。

#### 人口減少にあっても活力維持を

さて、兵庫県においても少子高齢化が進んでいます。令和2年度予算は、人口減少にあっても活力ある元氣なふるさとを築くことを見据えて、令和新时代にふさわしい施策を盛り込み「兵庫の挑戦」を掲げています。

私はこのたび、定例県議会で一般質問に登壇し、停電時の復旧体制、山地防災の取り組み強化のほか待機児童の解消、製鉄記念広畑病院統合後の姫路市西南部地域の医療体制づくりなどを質しました。

収支均衡を達成し、行財政構造改革は新しいステージへと進んでいます。なお、膨大な県債残高を抱えており、不断の改革を進めつつも、同時に、県民が未来に夢の持てる政策展開を図る必要があります。

#### 多様なニーズに鋭敏に心える

危急の時だからこそ、県民との厚い信頼が不可欠です。多様なニーズに鋭敏に心え、果敢に変革する高い志を持ち、自らの決意として、すこやか兵庫・すこやか姫路に向かって全霊を傾けることお誓いし、ご挨拶いたします。

#### 五島 壮一郎のプロフィール

- H12.3 姫路市立広畑小・中学校
- H15.3 兵庫県立姫路東高校卒業 (55回生)
- H19.3 岡山大学工学部卒業
- H19.4 電子機器メーカー勤務
- H27.6 兵庫県議会議員 (1期目)
- H29.6 農政環境常任委員会 副委員長
- R 1.6 兵庫県議会議員 (2期目)
- 自民党県議団 副幹事長

#### 【現在の代表的な肩書き】

(一社)兵庫県水質保全センター特別顧問、専門学校理事、(公財)姫路十字会理事、兵庫県早朝野球連盟会長、吟道楯楠流姫路地区連合会相談役、兵庫県相撲連盟会長、自由民主党兵庫県第11選挙区支部青年部長、壮新会代表

兵庫県に4月8日、**緊急事態宣言**が発令されました。長い戦いとなりますが、「手洗い」や「アルコール消毒」を励行し、感染拡大の要因である「密閉」「密集」「密接」を避けて、一人ひとりが**正しく恐れ、感染拡大を避ける冷静な行動**を心掛けたいものです。

一方、デマに惑わされず、不安を乗り越えることは大事な対策です。また、**誤認される広告**や**便乗詐欺**にも注意を払いましょう。

## “新兵庫挑戦予算”スタート

### 総額 3兆 9549 億円規模に

## 新型コロナ対策へ万全期す

「新兵庫挑戦予算」と銘打った総額3兆9549億円に上る令和2年度県当初予算案などを審議する、第347回定例県議会が2月18日から延べ37日間にわたって開かれ、上程された全議案を可決しました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、医療体制の強化など緊急対策として補正予算を編成し、安全安心の確立に全力を尽くしていくことを決めました。

県は3月1日、県内で

新型コロナウイルス感染症 県議会では同2日から  
症患者が発生したことに 予算特別委員会を開催  
伴って対策本部を設置 し、私も委員として質問  
し、クラスター化の防止 (3ページ参照)。新年度  
や2次感染の封じ込めに 予算関連のほか、新型コ  
ロナウイルスを引き金と  
国や市町と連携して全力 した経済低迷への対応  
などを求めました。



3月25日の県議会本  
会議では、社会福祉施  
設などでの感染拡大防  
止、生活資金の貸し付  
け、児童生徒の相談対  
応などを盛り込んだ令  
和元年度の補正予算案  
を可決しました。

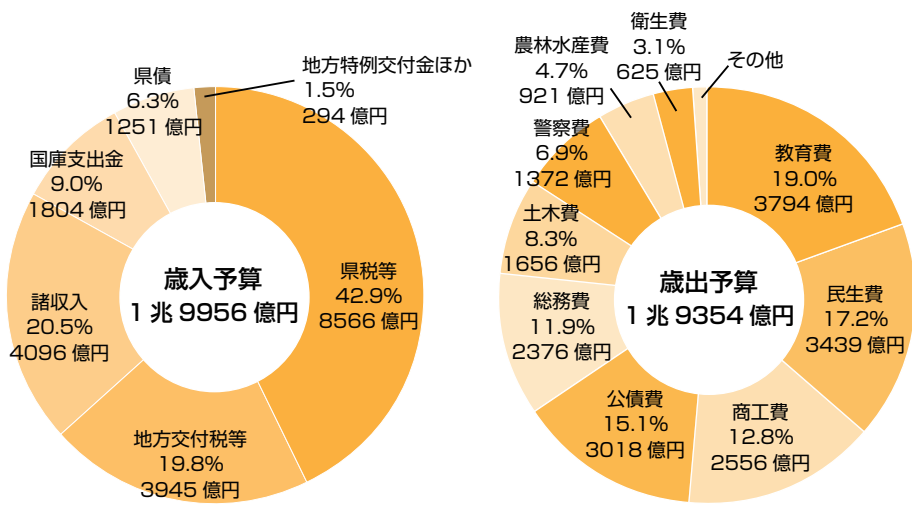
## 第二期県地域創生戦略を策定

### 地場産業、次世代産業のモデル事業も

少子高齢化や人口減少などに対応し、将来を見据えた活力のある地域社会をめざすため、2020年から2024年までの行動指針となる第二期「兵庫県地域創生戦略」をこのほど策定しました。

地域の元気づくりや子ども・子育て対策など4つの戦略目標を掲げ、県内を8つの地域に分けてモデル事業を展開。姫路を中心とした播磨地域では「地場産業を活かした若者女性集積プロジェクト」「次世代産業を核とした地域振興プロジェクト」などに取り組みます。

【令和2年度兵庫県当初予算（一般会計）の概要】



令和2年度  
県一般会計

1兆9956億円を計上

厳しい財政状況明らかに

普通建設  
事業費  
前年度比19.3億円増

令和2年度の県当初予算は、総額3兆9549億円。一般会計は1兆9956億円で、対前年度比で602億円を上回りました。

8131億円となる厳しい財政状況が明らかになりました。新行財政運営方針の財政フレームを見直すことにしています。

歳入では、県税等は過去最高額の8566億円となりましたが、企業業績の悪化を反映し、法人関係税は108億円減となり、消費税・地方消費税の引き上げによる増収分を

歳出では、幼児教育や高等教育の無償化といった制度充実、自然増による社会保障関係費の増加などで行政経費が前年度より110億円増の7847億円を計上しました。8億円減の2233億円

また、歳出を目的別に分けると、教育費19%、民生費17.2%、公債費15.1%、商工費12.8%、総務費11.9%、土木費8.3%などの順になります。

第347回定例県議会  
一般質問に登壇！

防災、福祉など7項目で要望

第347回定例県議会が2月から3月にかけて開かれ、自由民主党議員団として一般質問に登壇しました。

内容は防災、福祉、農政環境、教育分野など6分野7項目で、県当局の姿勢を質しつつ、迅速な対策を求めました。主な内容を次の通り要約してご紹介します。

災害時の非正規職員の役割 明確化を

【五島質問】

正規職員が行革で削減され、県民サービスを提供していく上で、非正規職員が重要な担い手となっている。来年度から法的な位置づけが会計年度任用職員と変わるタイミングで、災害時において非正規公務員の役割を整理し、防災計画などで明確にすべきだ。

画などで明確にすべきだ。

【防災監】

災害時の非正規職員の役割について、具体的な役割を明確化するため「災害時等職員行動マニュアル」に改めて職務内容等を明記し、災害対応力の向上に努める。



生活排水処理施設 老朽化対策を早急に

【五島質問】

生活排水処理施設の多くが供用開始から20年以上が経過し、更新時期を迎えている。

姫路市では、旧夢前町・安富町に7地区あるコミュニティ・プラントのうち最も古い施設が約30年を経過するほか、近隣の市町でも老朽化したコミュニティ・プラントや小規模集合排水処理施設などが施設更新を控えている。

【企画県民部長】

令和2年度から新たに「新・生活排水フォローアップ作戦」として、市町の生活排水処理施設の更新や統廃合を支援。自治振興助成事業特別会計に生活排水処理対策事業を設定し、補助および貸し付けを行う予定で、姫路市のコミュニティ・プラント更新などに活用する予定。



待機児童解消へ 保育ニーズ対策を

【五島質問】

県内の待機児童数は1569人で東京・沖縄に次ぎ全国ワースト3位。都市部では条件に合う市有地がなく、保育士確保の困難さもあり、施設整備のハードルは年々高くなっている。また、各市町がピークに合わせて環境を整えると、ピーク期を終えたあとに無駄が発生することも考えられる。

の地域偏在の解消、広域的な仕組みの構築が必要ではないか。



【知事】

保育所や認定こども園の整備による定員拡大を基本に、企業主導型保育事業の空き定員活用、駅前から郊外の保育所へのバス送迎を行う「広域的保育所等利用事業」の活用などを市町に働きかける。

停電時の復旧体制 を万全に

【五島質問】

災害時における停電について、病院など早期に復旧が必要な施設があり、電力会社が復旧作業の優先づけを行い、早期復旧には自治体としても協力体制は不可欠である。県での停電解消見込みなどの情報周知やそのための連携について、どのように進めていくのか。

て、どのように進めていくのか。

【防災監】

県の合同防災訓練等への参加を関西電力に求め、医療機関など災害時に優先して復旧する施設の情報共有するほか、災害時は県の対策本部に同社も参画する。



## 台風・豪雨対策の山地防災強化を

### 【五島質問】

局地的豪雨が増加傾向にあり、土砂・流木災害が全国各地で激甚化・頻発化している。姫路市内でも山間部地域で山腹が崩壊する箇所があり、中には都市部の裏山にも一部発生するなど周辺住民の不安感が増してきている。

山腹崩壊の防止など山地防災に間伐が一定の効果があるとはいえ、それだけでは崩壊を防ぐことは困難な状況になっており、全般

的な新たな取り組みを検討するステージにある。

### 【知事】

予防対策として、間伐に加えて表層崩壊防止力が期待できる間伐材を利用した土留工を施工。次に鉄筋を打ち込み補強するロックボルト工法などで整備を進める。さらに下流に人家等がある谷筋などでは、流木・土石流防止に効果の高い治山ダムを整備する。



## 姫路市南西部医療提供体制を円滑移行へ

### 【五島質問】

県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院が統合再編し、県立はりま姫路総合医療センター（仮称）が令和4年度の開業に向けて整備されている。

広畑病院は閉院し、後医療を社会医療法人三栄会が担うことになっているが、病院が移行される空白期間中は一層の不安感や、患者に負担が増すことが懸念される。医療提供体制を円滑に移行さ

せるには、後医療機関での受診を希望する患者の引き継ぎなどの事前調整も不可欠だ。

### 【病院事業管理者】

広畑病院閉院後、できるだけ速やかに開院する方向で検討している。患者の引き継ぎ方法など課題もあり、今後は関係者による会議の開催頻度を増やして緊密に連携し、姫路市とともに医療提供体制の円滑な移行を支援したい。



## 大規模アリーナ整備 どう進める

### 【五島質問】

県は大規模アリーナをはじめ、県民誰もが世界レベルを体感し、スポーツに気軽に親しめる総合的な拠点の整備の検討を開始した。海外事例を参考にすると、最

先端アリーナや競技場のみならず、音楽ライブ会場やショッピ

ングセンターなどと併設した事例も興味深い。また、立地について、



集客・利活用・世界大会の誘致に最適な環境も条件に考えられる。今後、どう進めていくのか。

### 【教育長】

本県には国際的な大会などの拠点となるスポーツ施設がなく、競技団体からも強く要請を受けている一方で、アリーナ建設には維持

管理も含めて多額の財源が必要となる。令和2年度は県全体を見据えて、将来どのようなスポーツ施設が必要かなどを整理しながら、県立都市公園のリノベーションとも連携し、アリーナ整備の可能性や事業モデル、スケジュールなどを検討していく。

### 予算特別委員会

## 課題解決へ 24項目で対策促す

第347回定例県議会では、予算特別委員会の委員として令和2年度の財政状況をはじめ、企画県民部や農政環境、教育委員会関係から延べ24項目にわたって課題を問い、対策を促しました。主な発言の要約を次の通り紹介します。



### カキ養殖業の一層の振興図れ

### 【五島質問】

全国のカキ生産者と情報交換しつつ、水産技術センターの研究成果等を漁業者に還元し、カキ養殖の一層の振興を図る必要がある。

### 【県当局】

出荷自主規制期間短縮の可能性を検討しているほか、水産技術センターによる小粒で甘みの強いシングルシードカキの養殖技術普及、輸出拡大、衛生対策などをさらに支援する。

### 夢前川・書写井堰の改修早期完成へ

### 【五島質問】

局地的な豪雨により河川堤防が溢れて浸水被害などが多発している。夢前川の書写井堰は、洪水が起これると周辺地域に甚大な被害を及ぼす可能性がある。平成29年

度に着手した改修事業の進捗状況は。

### 【県当局】

出水期後の11月に着工するが、施設規模が大きいため、令和5年3月に完成予定となる。

### 新型コロナ 官民協力で終息急げ

### 【五島質問】

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、国内では政治や行政、経済などに大きなダメージを与え、先行きも非常に困難な状態にある。まずは安全を最優先に感染拡大を防ぎ、官民協力して終息

を図る必要がある。

### 【県当局】

国家的な危機管理の対応が進められており、県内企業の影響を的確に把握し、国に地域の実情を伝えつつ、国の対策を活用しながら適切に対応していきたい。

### マイナンバーカード取得向上めざせ

### 【五島質問】

国は令和5年3月末までに国民ほとんどがマイナンバーカードを取得していることをめざしてい

る。県はどう取り組むのか。

### 【県当局】

年代別の状況の分析などを含めて取得率向上に積極的に努める。

### 通信制高校の学習環境改善が必要

### 【五島質問】

通信制高校の必要性が高まる中、子育て中の主婦も学び直しを希望されるケースもあり、全国的には託児所完備の通信制高校も見られる。より多くの生徒に来ても

らえるため、時代に応じた学習環境の整備が必要だ。

### 【県当局】

子育て中の生徒のため、近隣の託児施設の紹介や、校内に遊び場を確保するなどの検討は可能。

# 夢前川で洪水対策

## 市民の要望受け緊急整備へ

夢前川流域に住む市民からの要望を受け、護岸の老朽化や河床低下などの影響で災害につながる恐れのある箇所を県の緊急対策として整備を進めています。

河川整備計画に位置づけられていない区間では、樹木が生い茂って河川の断面が阻害されている箇所は洪水リスクが高まり、施設の老朽化などで出水時に十分な機能が発揮されない場合もあります。

こうした背景から、同区間で浸水実績のある51カ所を進めていた治水対策事業を1年前倒しで行い、今年3月末に完成にこぎつけました。

また、氾濫の危険性が高いと判明した夢前川の姫路市飾磨区山崎付近など93カ所で樹木伐採や河床掘削などのネットワーク対策を実施。姫路市広畑区東夢前台など、背後に人家や道路などがある80カ所で根固めブロックの設置など予防保全にも取り組んでいます。

## 飾磨区山崎付近、広畑区東夢前台など



## 起業プラザひょうご姫路がオープン

7月、大手前ダイネン BLD. II 3階に

起業・創業をめざす若者らを支援！

起業や創業をめざす若者らを支援する「起業プラザひょうご姫路」が今年7月、姫路市本町の大手前ダイネン BLD. II の3階にオープンする予定です。

県が神戸市内に設けた「起業プラザひょうご」の地域版で、起業プラザのノウハウや成果を全県に

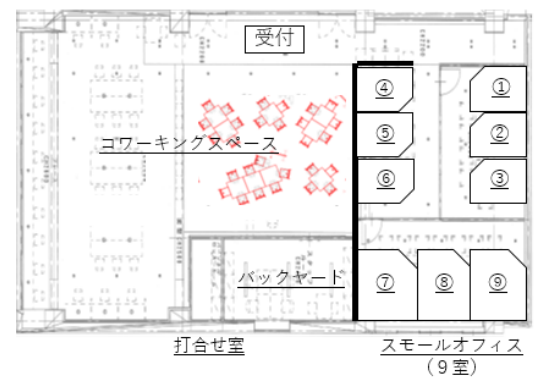
広げていくため、地域拠点として姫路市と尼崎市に設置することになりました。

同プラザでは、共同型オフィスのコワーキングスペース、スモールオフィスなど起業の場を提供するほか、コーディネーターによる情報提供や相談会などを実施する

一方、起業予定者やコワーキング会員同士の出会い・交流の場となることをめざしています。

同プラザの開設時間は12時から22時。基本料金は月額5千円でコワーキングスペース（22席）

起業プラザひょうご姫路レイアウトイメージ



を利用できるほか、スモールオフィスは2千円/㎡で、学生等は半額になる減免措置もあります。

## 五島壮一郎県会議員のフォト・レポート



建設常任委員会にて船舶衝突事故による鳴尾橋本復旧工事を調査しました(2019.8)



老朽化による兵庫県庁舎の再整備に関連して栃木県庁舎を視察しました(2019.9)

県と小野市が共同で整備している「ひょうご小野産業団地」。新たな産業拠点として注目を集めています。事業期間は令和3年度まで(2020.1)



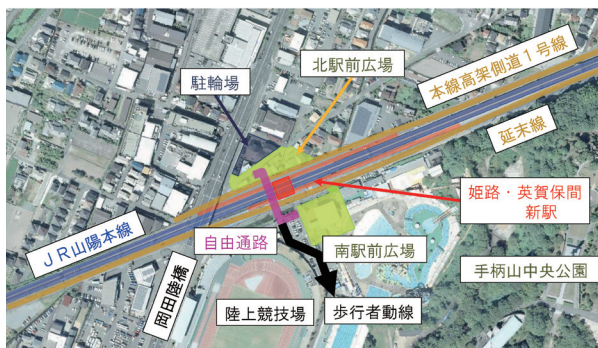
県立姫路東高等学校110周年記念式典にて井戸知事と(2019.11)



姫路駅東のキャストィ21イベントゾーンで整備を進める県立はりま姫路総合医療センター(仮称)のイメージパース。令和4年度の開院予定です



JR姫路駅と英賀保駅の間にある県道田寺今在家線棚田踏切は通行の危険性を考慮し、道路を地下化し踏切を除却する整備を実施。R9年度供用開始予定



JR姫路・英賀保間で計画されている手柄新駅事業。両側に駅改札を設ける相対式と上形式として検討。令和7年度末の完成を目標にしています

本県政報告へのご感想、お困りごとや地域の懸念事項など  
皆さまからの**ご意見、ご要望**をお聞かせ下さい。

五島壮一郎事務所  
兵庫県姫路市広畑区北河原町18-1  
Fax TEL 079-239-5841  
079-239-2282